

【ご使用前に必ず一読願います】

取扱説明書



HY-バリア用
H型・P型



初版 2017年4月1日
改訂 2018年5月1日
改訂 2023年1月6日

はじめに

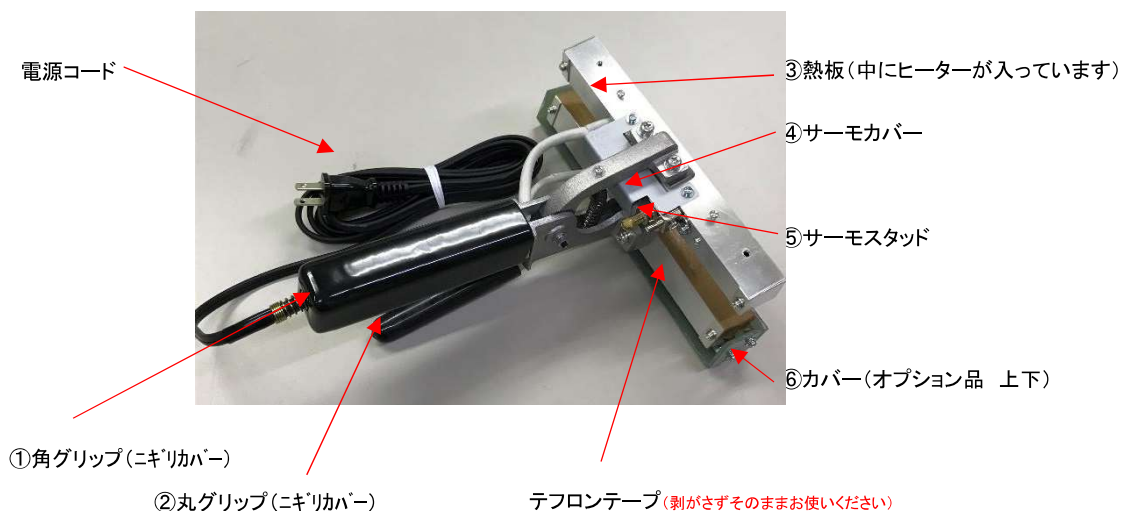
このたびは、(株)タマキのハンドシーラーをご採用下さいまして、誠に有り難うございます。本機は、使い易さを第一に考慮されておりますが、末長く優れた性能を十分に発揮させ維持していただくためこの説明書をよくお読みいただき、内容を正しくご理解いただいた上でお取扱いと保守を適切に行いますようお願いいたします。

※ 高温部がありますので、火傷にはご注意ください。

目次

1. 各部名称
外観図(標準品)
A001バリヤ用H型・A003バリヤ用P型
2. 温度設定
3. 使用方法
4. 補修
5. 注意事項
6. 保証書

1. 各部名称

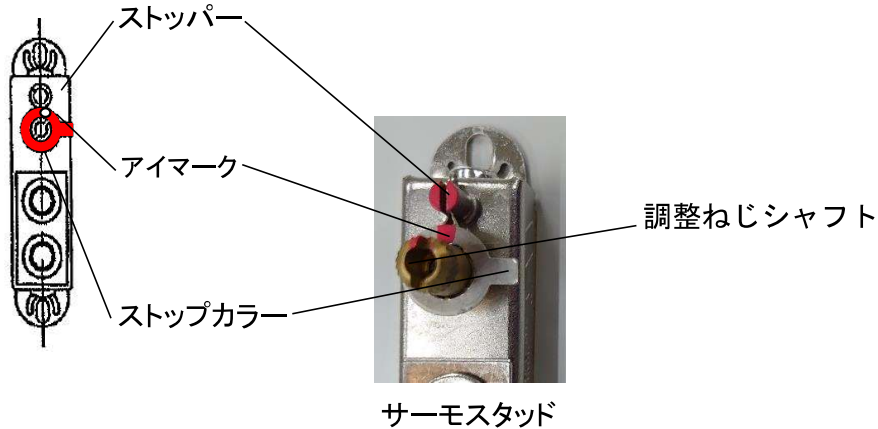


**③～⑥高温になりますので火傷にはご注意ください。
直接触ったりしないでください。**

2. 温度設定(サーモスタッド)

プラグを**AC100V電源**に差し込み、6~7分後に使用して下さい。

2-1 出荷時



温度180℃附近にてヒーターがONする位置にてサーモスタッドを調整致します。

その位置が確認出来る様、ストップカラーのストッパー位置にアイマークを入れます。

出荷時シールテストの材質は、蒸着フィルム等で行っております。

※適温は材質・厚みにより違います。

2-2 調整

① 圧接温度を変更する時(材質厚みにより)

② 圧接が正常に行えない時(温度低下・温度上昇)

上記の場合、下記の方法にて調整して下さい。



※調整ねじ(シャフト)をマイナスドライバーで回して行います。

注意事項①熱板の温度を確認しながら行ってください。

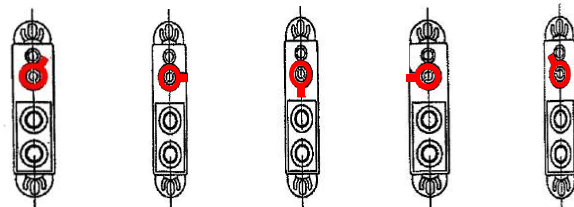
②熱板の温度が長時間200℃以上を超えない様にして下さい。

③温度を上げ過ぎるとグリップを握れなくなり、丸グリップが変形する場合があります。

③ 調整範囲

ストップカラー ストップカラー ストップカラー ストップカラー ストップカラー

0° 位置 (20°) 90° 位置 180° 位置 270° 位置 360° 位置 (340°)



↑ 出荷時状態

※温度精度±10.0℃

	参考値	参考値	参考値	参考値	参考値
ON位置	166℃	184℃	224℃	268℃	297℃
OFF位置	173℃	193℃	233℃	276℃	307℃

← 溶ける

※サーモスタッド定格にて温度が最大330℃程度上がりますので
ご注意ください。

3. 使用方法

AC100V電源投入後6～7分にて180℃前後になりますので使用を開始して下さい。

※ 定格電圧 AC100V 定格消費電力300W 接着部使用温度:180℃

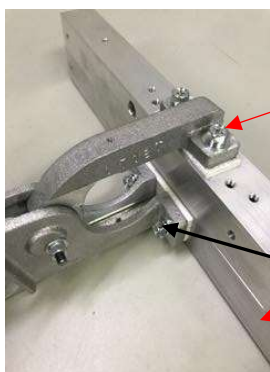


**ニギリグリップ及び先端部がとても熱くなりますので十分に注意して下さい。
手袋での使用を推奨いたします。**

ニギリグリップ以外高温注意

4. 補修

床に強く押し付けたりしますと、熱板がずれて上下熱板のかみ合わせが悪くなり、均一なシールが出来ません。



Aネジ

◎左右ズレがある場合

Aネジを少しゆるめ上熱板をずらして下さい

Bネジ

◎左右どちらか隙間がある場合

Bネジを少しゆるめ下熱板をずらして下さい



◎前後側に隙間がある場合

Bネジをゆるめ下熱板を上方(又は下方)にずらして下さい

左図の場合は下方にずらします。

5. 注意事項

①作業終了後、シール面の付着物を取り除いて下さい。



←平目熱板

テフロン貼の場合は布等で取り除く

テフロン貼でない場合は、ワイヤーブラシ又は
荒目ヤスリ等で取り除く



←横目熱板

ケガキ針又はワイヤーブラシで取り除く



工具店で巾狭専用ブラシを購入して下さい。

※熱板が熱いうちに除去して下さい。

②コードを引っ張らず**必ず**プラグを持って引き抜いて下さい。(修理の原因の多くは断線です。)

③ハンドシーラー使用时、ニギリ以外は**高温**となりますので火傷等にご注意下さい。

また、高温部に電源コード等接触しますと溶けますのでご注意ください。

④ハンドシーラーの修理も承っておりますので、ご依頼下さい。